

卓球競技(知的部門)申し合わせ事項

開催日：令和8年5月24日（日）

会 場：東京都障害者総合スポーツセンター 体育館 等

競技規則

本項に定める以外は、令和8年度公益財団法人日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

競技方法

- (1) 試合は1ゲーム 11 ポイントの5ゲームズマッチで行う。
- (2) 男子、女子それぞれ19歳以下、20歳～35歳、36歳以上の3部に分けて行う。
- (3) 各部、予選リーグを行い、各リーグ上位者による順位決定戦をトーナメントで行う。
但し、参加者数によっては競技方法を変更する場合がある。
- (4) 決勝トーナメントの場合は、3位決定戦は行わない。
- (5) タイムアウト制は実施しない。

招集方法

招集時間は、試合開始10分前とし、掲示および放送により招集する。

ナンバーカード

主催者の用意したもの（ピンク色）を競技用シャツの背部に付けること。

表 彰

競技終了後、競技会場で行う。各区分とも1位、2位、3位にメダルを、それ以外の参加者に敢闘賞を授与する。

その他

- (1) 試合球は、3 スタープレミアムクリーン（白 40mm）を使用する。
- (2) J T T A 公認以外のユニフォームを着用する場合は、事前に本部に申し出ることとし、この場合、白色は禁止とする。
- (3) 台にフリーハンドが触れた場合、必ずしも失点とはしない。ただし、故意に触れたり動かしたりした場合は反則とする。
- (4) 通常のサーブが困難な選手に限り、監督の申し出があった時にボールを台に一度落としてから打つことを認める。この場合、ラケットの面を下に向けて強く打つことは禁止する。
- (5) サーブ時の反則（静止や、投げ上げの高さ等）はとらないが、正しいサーブが行えるよう、試合終了後審判による指導を行うことがある。
- (6) 知的障害等が原因と認められる試合の中断があった場合、1つのマッチでの中断時間は、最大10分とする。また、速やかな試合進行のために、審判、監督、介助者等が競技者に進行を促す言葉をかけた選手に触れることができる。
- (7) 試合日と進行予定は、申し込み締切り後に決定する。また、当日に欠席が出た場合、リーグ戦については組合せを変更することがある。その場合は監督または本人に連絡を行う。
- (8) 競技方法や招集方法、表彰等に変更が生じる場合がある。
- (9) 大会プログラム、ナンバーカード(ピンク色)は事前に送付する。

障害別参加区分

区分番号	障 害 区 分
18	知 的 障 害